



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ステップ

コード番号 9795 URL <http://www.stepnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 龍井 郷二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員

(氏名) 新井 規彰

TEL 0466-20-8000

四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	5,866	5.8	1,246	12.1	1,267	15.7	719	25.0
23年9月期第3四半期	5,544	4.5	1,112	7.9	1,095	5.7	575	△2.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	48.81	—
23年9月期第3四半期	38.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第3四半期	14,541	10,855	74.7	736.52
23年9月期	14,421	10,429	72.3	707.67

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 10,855百万円 23年9月期 10,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	9.00	—	10.00	19.00
24年9月期	—	10.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	11.00	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年 9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,968	3.9	1,828	3.6	1,836	4.9	1,053	9.8	71.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期3Q	15,320,000 株	23年9月期	15,320,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年9月期3Q	581,633 株	23年9月期	581,633 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	14,738,367 株	23年9月期3Q	14,766,301 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
5. 補足情報	8
(1) 生産実績及び受注実績	8
(2) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社は、神奈川県の小・中・高校生（小5～高3）を対象に、小中学部の104スクール、高校部の11校の校舎で、「勉強を通して自分を伸ばしたい」「成績を上げたい」「勉強する面白さを体感したい」「志望校合格に近づきたい」「上手な勉強法を身に付けたい」「苦手教科を克服したい」等の様々な学習ニーズにこたえ、勉強の過程と結果を全体として大切にしながら、日々生徒達の成長に貢献できる授業の実践に全力で取り組んでいます。

当社は、「日々、全教師、全スタッフが授業の質とシステムの向上に全力を投入する」ことをモットーとしています。当社では、教師を授業の専門職、技術職として位置づけ、その授業力の向上への努力と情熱は、私共の学習塾としての根幹をなしています。平成24年4月末の段階で、全教師546名のうち509名（全体の93.2%）が正社員専任教師であり、毎週のように研修を重ね、技術の向上に取り組んでいます。また、合格実績は、私どもの活動の成果のすべてを表すものではありませんが、努力の一端を表す結果ではあると思います。今春の高校入試では、「学力向上進学重点校」をはじめとする神奈川県の公立トップ高校20校に1,684名のステップ生が合格しました。これは過去最高の人数であり、県内公立高校に合格したステップ生全体の41.6%に相当します。また、これら公立トップ高校のうち半数以上の12校において、塾別の合格者数でステップがトップとなっています。一方、ステップ生の通学圏内で最難関と位置づけられる国立東京学芸大附属高校への今春の合格実績は、同校の外部進学生用の一般枠102名のうち39名を占め、4年連続で各塾中トップの実績を残しています。

現役高校生部門についても、大学進学実績は着実に向上しています。今春の国公立、早慶上智への合格者数は過去最高の308名となりました。ステップでは、部活に励む、学校行事に打ち込むなど、現役生ならではの一人一人の多彩な高校生活との両立を支援しながら学習指導を行う体制を目指し、現在進行している受験形態の多様化に対応するシステム作り、環境作りを精力的に進めています。また、中学生部門を有した学習塾としての強みを募集面で活かしながら、ブランド力の強化を図っていきたいと考えています。

当社の第3四半期は、学習塾としての新年度のスタート期に当たるため、生徒募集に関しては不確定な要素が多く、生徒人数の動向が読みにくい時期ですが、今年度はこれまでのところ順調に推移してきました。この背景には、先述した長年の蓄積である授業力、合格実績面での実績に加え、来春から神奈川県公立高校の新入試制度の導入が正式に決まった影響もあると思われます。新制度では学力検査が全受験生に必須となるだけでなく、記述式問題の増加など難度の上昇が予想されるため、受験学年である中3生を中心に通塾ニーズが高まっている模様です。それらの状況を背景に、塾生総数で見た当第3四半期累計期間の平均は前年同期比4.7%増となりました。

当事業年度は、新たに川崎市の宮前平に進出するなど当社のドミナントエリアを拡充する形で小中学生部門4スクール、現役高校生部門1校の計5か所の新規展開を行いました。その結果、スクール数は現状、小中学生部門が104スクール、現役高校生部門は11校、個別指導部門1校の計116校となっています。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,866百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は1,246百万円（前年同四半期比12.1%増）、経常利益は1,267百万円（前年同四半期比15.7%増）、四半期純利益は719百万円（前年同四半期比25.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末比120百万円増の14,541百万円となりました。

流動資産は、現預金の増加等により、前事業年度末比311百万円増の1,543百万円となりました。

固定資産は、売却や減価償却実施による減少等により前事業年度末比190百万円減の12,997百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比305百万円減の3,686百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金等が増加したものの、未払法人税等の減少等があったため、前事業年度末比58百万円減の1,789百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の返済等により前事業年度末比246百万円減の1,896百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払等がありましたが、四半期純利益の計上により、前事業年度末比425百万円増の10,855百万円となりました。

それにより自己資本比率は前事業年度末に比べ、2.4ポイントアップの74.7%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本短信の発表時点では、当事業年度の業績予想の変更はございません。上位学年を中心として全体的には順調だった当第3四半期の生徒人数ですが、通期については夏期講習の募集状況にも影響を受けますので、慎重に見守っているところです。

上記公立高校入試の新制度では、難化が予想される学力検査と並んで主に一部トップ高校で実施される「特色検査」の内容も注目されています。ステップでは、他塾に先駆けてこの「特色検査」への備えを進め、受験生・保護者の期待にこたえる体制をとっていますが、初年度ということもあり新制度入試が全体としてどのようなものになるのか、未だ不透明な面も残されています。

また、昨今の社会情勢や景気動向がご家庭に与える影響についても、注意深く見守る必要があります。

いずれにしても、「日々技術の研鑽を怠らず、一人一人の生徒と向き合い、学力向上に真摯に取り組んでいく」という当社の基本的な方向性を堅持し、教師一人一人の授業力アップに継続的に力を注ぎ、教師層の厚みを増し、組織力の向上に努め、全体の教務力、スクール運営力のレベルアップを図って業容の発展に邁進いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しています。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第3四半期累計期間の「貸倒引当金戻入額」は、「販売費及び一般管理費」に計上していますが、前第3四半期累計期間については遡及処理を行っていません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,733	1,175,984
売掛金	43,910	72,897
有価証券	34,642	56,438
たな卸資産	19,573	25,532
その他	208,322	214,093
貸倒引当金	△1,453	△1,173
流動資産合計	1,232,729	1,543,773
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,454,777	5,301,657
土地	6,969,530	6,899,377
その他（純額）	165,271	192,193
有形固定資産合計	12,589,578	12,393,228
無形固定資産	27,082	23,905
投資その他の資産		
敷金及び保証金	396,977	409,332
その他	174,714	170,960
投資その他の資産合計	571,691	580,292
固定資産合計	13,188,353	12,997,426
資産合計	14,421,082	14,541,200
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,006,851	954,896
リース債務	9,487	7,407
未払金	88,750	89,813
未払法人税等	402,648	211,103
賞与引当金	54,668	201,026
その他	285,680	325,593
流動負債合計	1,848,086	1,789,840
固定負債		
長期借入金	1,758,272	1,506,422
リース債務	21,609	18,962
役員退職慰労引当金	224,890	220,730
資産除去債務	126,231	138,864
その他	12,113	11,239
固定負債合計	2,143,116	1,896,217
負債合計	3,991,203	3,686,058

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,329,050	1,329,050
資本剰余金	1,402,050	1,402,050
利益剰余金	7,877,975	8,302,556
自己株式	△165,591	△165,591
株主資本合計	10,443,484	10,868,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,604	△12,924
評価・換算差額等合計	△13,604	△12,924
純資産合計	10,429,879	10,855,141
負債純資産合計	14,421,082	14,541,200

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	5,544,972	5,866,501
売上原価	3,963,286	4,173,186
売上総利益	1,581,686	1,693,315
販売費及び一般管理費	469,341	446,369
営業利益	1,112,344	1,246,945
営業外収益		
受取利息	237	199
受取家賃	55,423	66,409
その他	9,299	30,568
営業外収益合計	64,960	97,176
営業外費用		
支払利息	27,726	23,095
貸貸費用	52,516	49,099
その他	1,208	4,226
営業外費用合計	81,451	76,421
経常利益	1,095,853	1,267,700
特別利益		
固定資産売却益	—	49,614
貸倒引当金戻入額	204	—
特別利益合計	204	49,614
特別損失		
固定資産除却損	23,873	15,115
減損損失	510	36,060
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82,178	—
特別損失合計	106,563	51,175
税引前四半期純利益	989,495	1,266,139
法人税、住民税及び事業税	489,522	564,987
法人税等調整額	△75,306	△18,196
法人税等合計	414,215	546,791
四半期純利益	575,279	719,348

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、学習塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績及び受注実績

当社は、生徒に対して授業を行うことを業務としていますので、生産及び受注実績は、該当事項はありません。

(2) 販売実績

当社は学習塾事業の単一セグメントであるため、開示対象となるセグメントはありませんが、当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりです。

事業部門別	当第3四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
小中学生部門	4,889,297	104.5
現役高校生部門	977,203	112.8
合 計	5,866,501	105.8